

アンゲリア



「アンゲリア」はギリシャ語で「ニュース・伝言・メッセージ」という意味です。

ἀγγελία



教養教育推進センター長 古田 善伯

自立的学習を習慣化しよう

皆さんは「学士力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これから、皆さんが大学で勉強する際、たびたび耳にするようになると思います。「学士力」というのは、21世紀市民として活動するのに必要な要素を包括した用語です。つまり、大学で習得すべきことは専門的な知識・理解だけでなくコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、創造的思考力などがあり、これらを総称して「学士力」と表現しています。そのために、大学では授業での学習はもちろんのこと授業以外にも課外活動やボランティア活動等に積極的に参加し、学士力の向上に努力することが求められます。この「学士力」を向上させるためには自立的に学習することが重要ですので、日々の学生生活において自立的に学習する習慣をしっかりと形成してください。

全学共通教育を受けて

教育学部 国語教育講座 香田 紫帆

私は岐阜大学の教育学部に入学して、教育学部で開講される講義以外に全学共通教育という講義があると知り、自分の専門としたい分野を学ぶ大学でなぜそのようなものがあるのか不思議に思いました。しかし全学共通教育は多種多様な講義があり、その中から自分で選択できるので、自分の専門ではない興味のある分野を詳しく学びたい機会になりました。全学共通教育がなければ、学ぶことがなかった内容も多くあります。

特に印象に残っている講義は太極拳です。今まで太極拳には全く触れたことがなかったのですが、どんなものだろうという好奇心で、この講義を選択しました。やってみてすごくおもしろかったし、思ったよりかなり体力を使うことが分かりました。とてもいい経験になりました。もしかしら今後、この講義をきっかけに太極拳を始めることがあるかもしれません。また、岐阜方言の授業も印象的だった授業の一つです。私は岐阜出身ですが、何気なく使っている岐阜の言葉についてなかなか考えたことがありませんでした。この講義でたくさん岐阜弁について学ぶことが出来ました。自分が今までいかに意識せずに言葉を使っていたか分かり、言葉の面白さを実感しました。

また、全学共通教育では他の学部の学生との接触が多いので普段交流のない学生とも仲良くなるのが出来ます。他県の話もその県の学生から聞けるので、自分の県にはない言葉や文化を知ることができ、とても興味深かったです。全学共通教育は自分の視野を広げる場だと思います。友達と合わせて講義をとるのも楽しいかもしれませんが、自分の興味を優先して受講することをおすすめします。一見自分とは関係ないと思っていた内容が、意外な時に生活や他の講義で生きてくることもあるのではないのでしょうか。

全学共通教育の意義

地域科学部 地域科学科卒業生 森田 真弥

全学共通教育とは、学部の垣根を越えた生徒たちが集まり、各々の興味がある分野の授業を履修する、という形態で講義が行われています。その特色は、学部生のみで受ける専門科目の講義にはない「各人の興味が優先される自由さ」であると、私は思っています。

私が全学共通教育を受けていたのは今から3年ほど前にさかのぼりますが、今になって考えてみれば、自分の興味が向くままに、実に自由に他学部の教授の講義を思う存分聞くことができた期間というのはあの時だけだったように感じます。私の所属する地域科学部は、岐阜大学にある他の学部よりも全体的な専門性は低く、ある程度自分の好きな学問を年次を重ねても継続できますが、やはり、全学共通教育の自由さには劣るような気がしています。全学共通教育では、今の自分の専攻では全く生かす場のない講義も興味のままに受けていました。現に、その知識は全く専攻では生きていませんが、私は損をしたとは感じていません。何故ならば、自分の知的好奇心が存分に満たされて満足しているからです。純粋に、「学ぶこと」が、面白かったからです。

私が思うに、全学共通教育とは一般教養を学ぶ場であると同時に、受験を終え、大学に入って間もない新生に自らの知的好奇心のままに「学ぶ」ことの楽しさを教える役割を担っているのです。これから全学共通教育を履修しようとしている方は、「必修単位ギリギリの分だけ。」と言わず、是非興味のおもむくままにたくさん講義を受けて下さい。それが自分の目指している専攻に全然関係のない講義でも、良いじゃないですか。シラバスを開けば数多くの講義のその中に、貴方に「学ぶこと」の楽しさを教えてくれる講義が、必ずあります。

正しい日本語を使いましょう!

● 今回は慣用表現、死語になりつつあることば、外来語を取りあげてみました。

1. 次のカタカナの部分に漢字(一字)に直してください。意味はわかるよね。

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| ①イを唱える | ②サバを読む | ③シラを切る | ④タカを括る |
| ⑤ラチが明る | ⑥ホゾを噛む | ⑦クビスを返す | ⑧テツを踏む |
| ⑨ゲンを担ぐ | ⑩ドウに入る | ⑪タテを突く | ⑫ホコを納める |
| ⑬ハナであしらう | ⑭タモトを分かっ | ⑮マが差す | |

2. ちょっと古いことばです。分かりますか。

- | | | | |
|--------|---------|-----------|-------------|
| ①衣紋掛け | ②キセル | ③手風琴 | ④火熨斗(ひのし) |
| ⑤寝巻 | ⑥匙(さじ) | ⑦細君 | ⑧帳面 |
| ⑨駄賃 | ⑩蚊帳(かや) | ⑪襦袢(じゆばん) | ⑫ご不浄・厠(かわや) |
| ⑬シャボン | ⑭夜なべ | ⑮ピロード・別珍 | ⑯甘藍(かんらん) |
| ⑰おみおつけ | ⑱お目文字 | ⑲別嬪(べっぴん) | ⑳自堕落(じだらく) |

3. 最近流行りの外来語です。分かりやすい日本語に言い換えてください。

- | | | | |
|----------|-------------|------------|----------|
| ①アーカイブ | ②アカウントビリティー | ③アセスメント | ④アナリスト |
| ⑤イノベーション | ⑥コンソーシアム | ⑦サーベイランス | ⑧スキーム |
| ⑨スキル | ⑩ストラテジー | ⑪タスク | ⑫デリバリー |
| ⑬ハイブリッド | ⑭フィルタリング | ⑮ベンチャー | ⑯ミッション |
| ⑰モラトリアム | ⑱リテラシー | ⑲ワークシェアリング | ⑳ワークショップ |

- ①異(相手と違う意見を述べる) ②鯖(得をしようと数をごまかす) ③白(知らないふりをする) ④高(見くびる) ⑤埒(はかどる) ⑥臍(悔いること) ⑦踵(もと来た方へ引き返す) ⑧轍(先人と同じ失敗をする) ⑨験(あるものに前途のよしあしを託す) ⑩堂(すっかり手慣れて身につけている) ⑪楯(反抗する) ⑫矛(戦闘をやめる) ⑬鼻(相手のことばに、ろくに变じもせず冷淡に扱う) ⑭袂(人との縁を切る。わかれる) ⑮魔(悪魔が心に入り込んだように、普段では考えられない悪念を起こす)
- ①ハンガー ②刻み煙草を詰めて吸う道具。間がラオという竹で出来ていることから、中間無賃乗車することをもいう) ③アコーディオン ④底の平らな手鍋状のものに炭火を入れて火をのぼす道具。昔のアイロン ⑤夜寝る時に着る衣服 ⑥スプーン ⑦妻 ⑧ノート ⑨駄荷の運賃。子どもへのお使い賃 ⑩蚊の侵入を防ぐため寝床に吊り下げて覆うもの。「蚊帳の外」という慣用句あり。 ⑪はだぎ ⑫トイレ ⑬石鯛 ⑭夜にする仕事 ⑮ベルベット。コーデロイ ⑯キャベツ ⑰(女房ことば)味増汁 ⑱(女房ことば)お目にかかること ⑲美人 ⑳だらしないさま
- ①保存記録 ②説明責任・責務 ③影響評価 ④分析家 ⑤技術革新 ⑥共同事業体 ⑦調査監視 ⑧計画・枠組み ⑨技術 ⑩戦略・作戦 ⑪作業課題 ⑫配達・宅配 ⑬複合型・異種混合 ⑭選別 ⑮新興企業 ⑯使命・使節団 ⑰猶予・猶予期間 ⑱読み書き能力 ⑲仕事の分かち合い ⑳研究集会・参加型講習会

編集後記

新学年、新学期が始まります。新入生の方々は新たな勉強への意欲や志を胸に抱いていることでしょう。そういうあなた達を当センターは全力で応援します。これからの大学での勉強に資するよう、あなた達が少しでも「賢く」なって社会に出られるよう、当センターも授業担当教員も力を注ぎます。あなた達も頑張って勉強する努力を惜しまないでください。

「アンゲリア」の今号では、教養教育推進センター長から「自立的学習を習慣化しよう」という趣旨で、大学での学習(学力)の向上に努力することが求められています。日々の学生生活において、自立的に学習する習慣を形成することがあなた達に求められているのです。

他の記事として、先輩達から全学共通教育の講義についてのアドバイスやクイズ形式の「正しい日本語を使いましょう!」を掲載しました。読んでみてください。案外役に立ちますから。

4月早々、入学式の前に「全学共通教育ガイダンス」で初年次を中心とした学習について説明があります。授業開始前に、Web上で「履修申請(登録)」手続きを行います。それもガイダンスで説明されますから心配には及びません。ただ、登録しないと授業を受けることが出来ませんので、ガイダンスでは説明をしっかりと聴いてください。初めてのことはかりで戸惑うことが多いかもしれませんが、不明な点や疑問があれば、遠慮なく「全学共通教育事務局」を訪ね、どんな疑問でも尋ねてみてください。こういうことをすることが「自立的学習」の第一歩なのです。さあ、始めましょう!

編集責任: 教養教育推進センター
副センター長 中川 一雄